

少しでも子育て家庭の力になりたいという強い思いで活動

お話いただいたのは・・・

まかせて会員

桑村 美香さん



2007年に会員登録。9組のおねがい会員さんとマッチング。保育園や小学校へのお迎えと預かり、双子の検診や予防接種への同行、赤ちゃんの見守りなど、さまざまな依頼に柔軟に対応。きめ細やかなサポートは、いつもやさしい思いやりの気持ちにあふれている。

子育て家庭の方には、血縁関係がないところにも、いろいろなつながりや信頼関係を築いて、楽しい子育てをしてもらえたらと願っています。その一助になる活動を続けていきたいです。

まかせて会員の活動を再開した経緯は？

10年以上前に会員登録をしましたが、当時は仕事との調整が難しく、あまり活動ができていませんでした。コロナ禍をきっかけに仕事の内容が変わり、少し空き時間ができたので、その近況をセンターに連絡しました。

長年、子育て家庭に接してきた前職での経験や私自身が転勤族で、親元を離れて多くの人に助けられて3人の子どもを育てた経験から、子育てにはいろいろな人の力が必要で、地域のみんなで子育てできるといいなと日頃から思っていました。少しでも子育て家庭の力になりたいという強い思いが活動の再開につながったと思います。

特に心に残っているサポートは？

5歳の男子の子のサポートです。週2回保育園に迎えに行き、お母さんのお迎えまで1時間ほどの預かりを、おねがい会員さんが引越されるまでの1年間ほど行いました。

人懐っこく楽しい子で、我が家に着くなり夫の部屋に行って「こんにちは！」と挨拶してくれるので、初めは家での預かりに乗り気ではなかった夫も、援助日を待ち遠しく思うようになったほどでした。

毎回出してくれるポケモンクイズに答えるため、ポケモンの進化まで一生懸命覚えたこともいい思い出です。私達に孫ができたような楽しいサポートでした。

信頼関係を築くために大切なことは？

互いにコミュニケーションをとることが大切だと思います。私はサポート前日には「明日はよろしくお願ひします」とメッセージを送り、お子さんが元気かどうかお尋ねし、気をつけることがあれば事前にお聞きしておくようにしています。また、サポート中に判断に困ることが起こった場合にも、自分で判断せず、すぐにおねがい会員さんにお尋ねするようにしています。そして、サポート終了後は今日の様子を丁寧に伝え、頑張ったことやできるようになったことなどは、特にしっかりお伝えしています。

サポートしていく中で、自分の考え方とおねがい会員さんの考え方に違いを感じることもあるかと思っています。だからこそ、おねがい会員さんに寄り添いながらサポートするためには、しっかりお話することが大切だと思います。

第1回スキルアップ講座報告

2024.9.27 (金)

「アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)に気づこう！」

What's

アンコンシャス・バイアス ?

「アンコンシャス・バイアス」とは、「無意識の思い込み」を指し、私たちが気づかないうちに抱えている偏見や固定観念のことです。人間の脳は、過去の経験や知識に基づいて高速で思考するようにできているため、無意識に「こうだろう」と判断し、自分なりの解釈をします。これがアンコンシャス・バイアスの元になっています。

本当にそう？

思いこみ・先入観・固定観念にとらわれてない ?

- 血液型で性格を想像してしまう
- 「男のくせに」や「女のくせに」と思うことがある
- 家事は女性がするものだと思う
- 「親が単身赴任」と聞くと、父親を思い浮かべる



講師
高松太田社労士事務所代表
谷川 由紀さん

アンコンシャス・バイアスは、何気ない日々の行動や言動となって表れます。自分のアンコンシャス・バイアスを理解して、先入観や思い込み、決めつけによる行動や言動をコントロールできるようになると、相手を傷つけてしまう行動や発言を避けることができ、さらに良い人間関係が築けるのではないのでしょうか。



グループワークでは、自分自身の思考スタイルのチェックを行った後、感じたことなどを共有しました。

アンケートより

アンコンシャス・バイアスという言葉を知りました。自分自身の思い込みに気づこうと意識することで、人間関係も良くなりました。今後に活用していきたいと思っています。